

## 社会科（公民的分野）

社会科（公民的分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

### 選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、現代社会の見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。
- 5 生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に現代社会に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、国民主権を担う公民として、我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重し、その平和と繁栄を図ることや、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重すること、また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

## 社会科（公民的分野）

### 調査研究の結果の概要

#### ■東京書籍「新編 新しい社会 公民」

学習課題が、単元を貫く「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間の「学習課題」の3段階で構造化されて示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動によって、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。「スキル・アップ」コーナーでは、具体的な資料を用いて、情報を批判的に読み取る力を身に付けるための活動等が設定されている。

全ての単元の「導入の活動」で「探究のステップ」と「探究課題」を示し、生徒が課題解決的な学習を進められるようよく工夫されている。「まとめの活動」では、思考ツールを活用して思考・判断した内容を適切に表現しながら課題解決に取り組むよう提案されるなど、生徒が課題解決的な学習を通して、自ら考え表現する力を身に付けられるよう工夫されている。

単元の導入やまとめ、毎時間ごとなど様々な場面で設けられている「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、話し合い活動等が設定されており、生徒が対話的な学びを展開しやすいよう工夫されている。単元末には、学習した内容をもとに、自らがどのように社会や政治、経済に関わるべきかを考える活動が用意されるなど、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。

各単元の導入で、解決すべき課題を把握するための視点を、生徒が自ら見つけ出すことで、課題を追及し解決する活動へつながるよう工夫され、各単元の「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動を通して、考察を深め、価値判断や意思決定する場面が設定されている。単元末のまとめでは、節ごとの探究の問いに対して、考察したことを思考ツールを活用して整理する活動が提案されている。さらに、「まとめの活動」では、社会の課題解決に向けて、生徒が考察、構想する場面が設けられているなど、すべての単元で課題解決に向けた学習の充実が図られており、優れている。

特設ページ「18歳へのステップ」で政治や契約に関する教材が取り上げられるなど、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。

#### ■教育出版「中学社会 公民 ともに生きる」

学習課題が、章のテーマとしての問い、節ごとの問い、毎時間の学習課題の3段階で示されており、章の問いや学習課題に対応したまとめや振り返り活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。コラム「公民の技」では、現代社会の課題や資料活用の方法・手順等が示され、生徒が公民の学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

毎時間の学習のまとめとなる「表現」で、社会的事象や課題等について、説明し、話し合いを行う言語活動が設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、章の学習で習得した知識を整理しながら、自分の考えをまとめたり、意見を交換したりする課題が設定されるなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。

社会の課題を詳しく掘り下げて考える特設ページ「持続可能な社会に向けて」や終章「持続可能な未来の社会へ」では、SDGsの17の目標と意義に加え、持続可能性を妨げる今日的な課題が例示されており、生徒がその解決に向けて探究意欲を高められるよう工夫されている。

各章の導入で、学習を進めていく視点が「見方・考え方」として示され、適宜見方・考え方を働かせて現代社会の考察を深める問いが設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、

章全体のテーマについて、具体的に示された見方・考え方を働かせながら、生徒が自分の考えをまとめ、解決を図る活動が設定されているなど、工夫されている。

地域の教訓を語り継ぐ奇跡の集落、日本の美德、現代建築に生きる五重塔の技と知恵などが紹介され、郷土の伝統と文化だけでなく、過去から受け継がれてきたものを未来の世代へと受け継いでいく意味について考える場面が設定され、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるよう工夫され、優れている。

#### ■帝国書院「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」

学習課題が、章を貫く問い、節ごとの問い、毎時間の学習課題の3段階で示され、章の学習に対応したまとめの課題や学習課題に対応した振り返り活動が構造的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。随所に設けられている「資料活用」では、資料を読み取る際の具体的な視点やその資料を活用して考えを深める活動が提案され、生徒が必要な情報を読み取る力を身に付けられるよう工夫されている。

毎時間の学習のまとめとなる「説明しよう」で、1時間の学習内容を基に、説明してまとめる活動が設定され、各章末の「学習を振り返ろう」では、章を通じた学習内容を整理し、意見交換等を通して、自分の考えを深めていく活動が段階的に示されるなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。

各単元の「学習の前に」では、大きなイラストを用いて、身近な事例から学習内容を読み解く活動が用意され、生徒にとって、単元の学習への見通しを立てやすく、学習の動機付けにも繋がる手立てとなっている。特設ページ「章の学習を振り返ろう」「アクティブ公民」では、社会に見られる課題の解決に向けて、生徒自身が、構想・選択・判断する学習が提案されているなど、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されており、優れている。

各単元のまとめでは、他者の意見をもとに自分の考えを深めながら課題を解決する活動が設定されるなど、単元を通して考察・構想する学習活動が充実しており、優れている。

国際社会の単元では、SDGsの理念が詳しく解説されているとともに、特設ページ「よりよい社会を目指して」「未来に向けて」「アクティブ公民」では、社会が直面する課題が取り上げられている。また、各所にSDGsとの関連を示すマークが付されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられる工夫に優れている。

#### ■日本文教出版「中学社会 公民的分野」

各編の導入で、これから学習する内容の概要が示されているとともに、毎時間の学習課題とその課題解決の手がかりとなる見方・考え方が併せて示されている点で優れている。また、学習課題に対応したまとめや、単元のまとまりで学習課題を追究する「チャレンジ公民」の活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。

単元末の「チャレンジ公民」では、豊富な資料をもとに、社会に見られる課題について、生徒がグループで議論を行い考察・構想する活動につながるようステップを示して段階的に課題を設定するなど、多面的・多角的に考察しながら、言語活動の充実が図れるようよく工夫されている。

単元の冒頭でイラストをもとに身近なできごとを取り上げて、単元の学習内容を見通す場面を設定するなど、生徒の学習の動機づけにも繋がる手立てが工夫されている。また、章と節の学習課題を問いで示すことで、生徒が単元のまとまりに対して見通しを持って主体的に学習を進められるよう

よく工夫されている。単元の導入やまとめ、「アクティビティ」では、意見交換したり、話し合ったりする活動が設定され、生徒が対話的な学びを展開しやすい。

各編の導入で、身近な場面から課題を捉えた漫画を用いて、生徒に分かりやすく見方・考え方が解説されている。また、毎時間の学習では、毎時間の学習課題に応じた「見方・考え方」を着目する視点として具体的に示されるなど、生徒が学習の見通しをもちながら、課題追究を行いやすい。さらに、「アクティビティ」や特設ページ「明日に向かって」、章末の「まとめとふり返り」など、見方・考え方を働かせる問いが各所に設定されており、優れている。

「地方自治」の単元では、地方財政の課題について考察したり、模擬選挙を題材に政策を検討する学習活動を提案するなど、見方・考え方を働かせながら、経済と政治の学習を結びつけて考えることを通して、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。

#### ■自由社「新しい公民教科書」

生徒に対して問題提起を投げかけるような表現で単元を貫く問いが示されるとともに、各時間に学習課題を設定し、生徒が課題意識を持って学習内容を習得できるよう工夫されている。全体を通して、図表をはじめとする関連資料の掲載が少なく、情報収集・分析、資料を読み取る力などを身に付けるための工夫やコーナーなどもほぼ設定されていないなど、生徒が公民の学習に必要な技能を身に付けるための学習の手立てが弱い。

各章末の「学習のまとめと発展」では、学習した内容を基に、学習を深める問いが用意されるなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。

適宜設定される「もっと知りたい」や各章末の「学習のまとめと発展」等で、生徒の探究的な学びを促す問いが設けられ、「課題の探求」では、ディベートや卒業論文の作成が課題として用意されるなど、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。一方で、各単元の学習を見通すための場面等が設定されておらず、生徒が見通しを持って主体的に学習に向かう活動にはつながりにくい。

各章の最初の単元に、単元を通して考えたい学習課題が示されているが、各単元の学習を見通すための場面等は設定されておらず、生徒は見通しをもちにくい。また、各単元の学習課題は、本文の記述をもとに、これまでの歴史的な背景から日本の現状を知ること重点が置かれているため、多様な視点をもとに、生徒自らが現代社会の特色を捉え、解決すべき課題を把握し、その解決に向けて考察、構想する場面の設定が少ない。

終章では、「持続可能な社会を目指して」がテーマとされ、日本型ODA等や軍事、環境等の視点から見た日本と世界の姿が掲載されるとともに、卒業論文やディベートが「課題の探求」として設定されるなど、生徒の持続可能な社会の形成に参画する態度の涵養につながるよう工夫されている。

#### ■育鵬社「新しいみんなの公民」

学習課題について、章の問い、節ごとの課題、毎時間の課題の3段階で構成され、毎時間の課題に対応した「確認」「探究」に取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。随所に「学習を深めよう」として、資料をもとに考えたり調べたりする課題に取り組むコーナーが設けられるなど、生徒が公民の学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

毎時間の学習のまとめとなる「探究」で、1時間の学習内容をもとに、話し合いや発表、まとめる活動が設定されている。また、単元末には、単元の学習内容をもとに、考えを説明したり、話し合ったりする言語活動が設定されており、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断

力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。

各単元の導入の「〇〇の入り口」で、学習内容に関わる具体的な課題が示されるとともに、資料の分析や調べ学習など、生徒が自分で考える場面が設定されている。また、各章末に、その章で学習した内容を踏まえ、社会の未来の姿をさらに深く構想する「〇〇のこれから」が設定されており、生徒の探究的な学びが促されるよう工夫されている。

巻頭で、グローバル化の時代に必要な公民としての資質など、考えるべき視点に対する一定の見解を示し、生徒が現代社会に対する見方や考え方を意識することができるよう工夫されている。また、公民としてのあるべき姿や資質を考えることができるよう単元構成や学習課題が工夫されている。

国際社会の単元では、「文化と宗教の多様性」を題材に世界遺産や世界の主な宗教の分布図等が示され、「国旗・国歌」の題材では、日本の歴史や伝統・文化を意識することについても取り上げている。生徒が我が国と郷土を愛し、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度や、「SDGs」の理念にもとづき、国際社会が目指す姿を実現するため、日本が果たすべき役割を考え、社会参画への意識を身に付けることができるようよく工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	自由社	育鵬社
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。	1 基礎的基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	○	○	○	○	○
		2 指導事項(学習課題やまとめ・振り返り活動等)の明示	○	○	○	◎	○	○
		3 用語・語句の取り上げ方や説明・注釈などに関する工夫	○	○	○	○	○	○
		4 情報を効果的に調べまとめる技能を養う工夫	○	○	○	○	△	○
2	習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。	1 習得した知識及び技能の活用を促す工夫	○	○	○	○	○	○
		2 説明したり議論したりするなどの言語活動の充実	○	○	○	◎	○	○
		3 課題を追究したり解決したりする学習の進め方の提示	◎	○	○	◎	△	◎
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすい工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすい工夫・配慮されていること。	1 探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	○	○	◎	◎	△	○
		2 発展的な学習活動につながる工夫	○	○	○	◎	○	○
		3 ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	○	○	○	○	○	○
4	グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、現代社会の見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。	1 現代社会の見方・考え方を働かせる課題設定の工夫	○	○	○	◎	△	○
		2 課題把握・課題解決に向けて考察・構想したりする学習の充実	◎	○	◎	◎	△	○
		3 現代社会を捉える視点を養う学習の充実	○	○	◎	○	○	○
5	生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に現代社会に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、国民主権を担う公民として、我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重し、その平和と繁栄を図ることや、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重すること、また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。	1 持続可能な社会の形成に参画する態度を養うための工夫	○	○	◎	◎	○	○
		2 公民、主権者としての資質・能力の育成に関する記述	○	○	○	○	○	○
		3 国際社会における文化や宗教等の多様性に関する記述	○	◎	○	◎	○	◎
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。	1 人権教育の推進	○	◎	○	○	○	○
		2 道徳教育の推進	○	○	○	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。	1 単元構成の系統性・発展性	◎	○	○	◎	△	○
		2 他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○	△	○
		3 他校種との接続	○	○	○	○	△	○
		4 家庭・地域との連携	○	○	○	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすい工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1 文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○	○	○
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	△	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	△	○

【社会科（公民的分野）】観点別資料

【選定の観点1-1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○毎時間設定されている「チェック」「トライ」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「チェック」では、基礎的・基本的な内容を確認し、「トライ」では、要約や説明をする活動に繰り返し取り組むことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、各章末に「まとめの活動」が設定されており、学習した語句の説明をしたり、その語句を用いて図に整理したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○学習課題が、単元を貫く「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間の「学習課題」の3段階で構造化されて示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間設定されている「確認」「表現」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「確認」では、基礎的・基本的な内容を確認し、「表現」では、説明や話し合い活動を行うことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、各章末に「学習のまとめと表現」が設定されており、学習した語句の意味を確認したり、語句を活用して説明したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○学習課題が、章のテーマとしての問い、節ごとの問い、毎時間の学習課題の3段階で示されており、章の問いや学習課題に対応したまとめや振り返り活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間設定されている「確認しよう」「説明しよう」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。「確認しよう」では、本文から重要語句やポイントを書き出し、「説明しよう」では、習得した知識を活用する言語活動に繰り返し取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、各章末に「学習を振り返ろう」が設定されており、章全体の学習内容を振り返るとともに、節の問いの答えを考える過程で、学習した語句の意味を確認したり、活用したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○学習課題が、章を貫く問い、節ごとの問い、毎時間の学習課題の3段階で示されており、章の学習に対応したまとめの課題や学習課題に対応した振り返り活動が構造的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間設定されている「確認」「表現」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。「確認」では、学習課題と共に示された見方・考え方を基に、重要語句やポイントを書き出し、「表現」では、見方・考え方を基に、説明やまとめなどの活動を設定し、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、各章末の「まとめとふり返り」で、学習内容を説明したり、語句を活用して図を作成したり、新聞を読み取ったりする学習課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各編の導入で、これから学習する内容の概要が示されているとともに、毎時間の学習課題とその課題解決の手がかりとなる見方・考え方が併せて示されている点で優れている。また、学習課題に対応したまとめや、単元のまとまりで学習課題を追究する「チャレンジ公民」の活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間のまとめとなる活動等は明記されていないが、「ここがポイント」で、習得すべき知識や技能を2～3項目ずつ取り上げて示し、生徒にとって分かりやすく、学習内容を習得できるよう工夫されている。また、各章末に「学習のまとめと発展」が設定されており、学習した語句について文字数を設けて説明する活動を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○生徒に対して問題提起を投げかけるような表現で単元を貫く問いが示されるとともに、各時間に学習課題を設定し、生徒が課題意識をもって学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間設定されている「確認」「探究」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。「確認」では、重要語句やポイントの書き出し、「探究」では、学習内容を参考に説明したりするまとめの活動が設定されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、各章末に「学習のまとめ」が設定されており、学習した語句の確認やその語句を用いて図を作成する課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○学習課題について、章の問い、節ごとの課題、毎時間の課題の3段階で構成されている。また、毎時間の課題に対応した「確認」「探究」に取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>

【選定の観点1-2】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○本文の難しい用語には、注釈が付けられており、巻末の「用語解説一覧」で、二次元コードを活用して内容を確認できるように工夫されている。本文・巻末（さくいん）ともに関連ページが表示されるなど、生徒にとって使いやすい。また、巻末の「参考法令集」では、日本国憲法以外の法令については、二次元コードを活用して内容を確認できる。日本国憲法については、難解な語彙には欄外に解説を加えるなど、工夫されている。</p> <p>○鉛筆マークで小学校の社会科や、「スキル・アップ」で身に付けた技能を活用しながら資料を読み取る学習課題を随所に設定している。また、「スキル・アップ」コーナーでは、具体的な資料を用いて、円高円安の影響を考える活動や情報を批判的に読み取る力（メディアリテラシー）を身に付けるための活動が設定されるなど、生徒が公民の学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、注釈が付けられており、巻末には「用語解説」ページが用意されている。本文・巻末ともに関連ページが表示されるなど、生徒の用語理解を助ける手立てとなっている。また、巻末の法令集では、関連ページが表示されていないが、本文には巻末の法令集の該当ページが表示されている。日本国憲法の難解な語彙には、欄外に解説を加えるなど、工夫されている。</p> <p>○随所に設けられている「THINK!」のコーナーでは、生徒が資料を読み取り・分析する際の視点が問いの形で示されている。また、コラム「公民の技」では、現代社会の課題や資料活用の方法・手順等が示されているなど、個人やグループ活動を通して、生徒が公民の学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末に「用語解説」等のページは設けられてはいるが、重要語句の索引は設けられており、関連ページの表示もある。本文中の難しい用語には、注釈や「解説」として補足説明が付けられており、生徒の用語理解を助けている。また、巻末の法令集では、本文と法令集との関連ページが表示されており、日本国憲法の難解な語彙には欄外に解説を加えるなど、工夫されている。</p> <p>○随所に設けられている「資料活用」では、資料を読み取る際の具体的な視点やその資料を活用して考えを深める活動が提案されるなど、生徒が必要な情報を読み取る力を身に付けられるよう工夫されている。また、「技能をみがく」コーナーでは、情報収集・分析や意見整理等の方法が紹介されるなど、生徒が公民の学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、注釈が付けられており、巻末には「用語解説」ページに加え、「類似用語集」「さくいん」のページが用意されている。本文・巻末ともに関連ページが表示されるなど、生徒にとって使いやすい。また、巻末の法令集では、本文と法令集との関連ページが表示されており、日本国憲法の難解な語彙には欄外に解説を加えるなど、工夫されている。</p> <p>○生徒の資料の読み取りを補助する「資料活用」コーナーや、情報を収集し、読み取り、まとめる技能や情報リテラシーを育むための特設ページ「情報スキルアップ」が設けられるなど、生徒が公民の学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末に「用語解説」のページは設けられてはいるが、重要語句の索引が設けられており、関連ページを表示している。本文中の用語には、適宜、側注に説明が掲載されるなど、生徒の理解を助けるよう工夫されている。また、関連ページは示されていないものの、巻末に法令集が用意されている。</p> <p>○全体を通して、図表をはじめとする関連資料の掲載が少ない。また、情報収集・分析、資料を読み取る力などを身に付けるための工夫やコーナーなどもほぼ設定されていないなど、生徒が公民の学習に必要な技能を身に付けるための学習の手立てが弱い。</p>	<p>○本文の難しい用語には、注釈で補足説明や用語解説が付けられており、巻末には「用語解説」「さくいん」ページが用意されている。本文・巻末ともに関連ページが表示されるなど、生徒の用語理解を助けている。また、巻末の法令集では、関連ページが表示されていないが、本文には巻末の法令集の該当ページが表示されている。日本国憲法の難解な語彙には、欄外に解説を加えるなど、工夫されている。</p> <p>○随所に設けられている「資料活用」では、情報収集、読み取り、まとめるといった資料活用能力を身に付けるための工夫がされている。また、随所に「学習を深めよう」として、資料を基に考えたり調べたりする課題に取り組むコーナーが設けられるなど、生徒が公民の学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>



【選定の観点2-1】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○毎時間の学習のまとめとなる「トライ」で、1時間の学習内容を基に、要約したり、説明したりする活動、社会参画のあり方を考える言語活動が設定されている。また、各単元のまとめや振り返りには、単元の学習を通して得た知識を整理して、自分の意見や考えを表現する学習活動が用意されるなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○「みんなでチャレンジ」では、プライバシーの権利や死刑制度、温室効果ガス排出など、豊富な題材が取り上げられるなど、話し合いによる言語活動の機会が数多く設定されている。また、各学習のまとめとなる「トライ」では、生徒が資料を分析する視点や話し合いを行う際の視点が具体的に示されるなど、多面的・多角的に考察しながら、言語活動の充実が図れるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「表現」で、社会的事象や課題等について、説明し、話し合いを行う言語活動が設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、章の学習で習得した知識を整理しながら、自分の考えをまとめたり、意見を交換したりする課題が設定されるなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○死刑制度や社会保障費の給付と負担など、豊富な題材が取り上げられるコラム「公民の技」「THINK!」等で、生徒が話し合う場面が各所に設定されている。特に、「THINK!」では、グラフ、写真、地図などの資料を読み取り、社会の動きを考察する活動が重視されるなど、言語活動の充実が図れるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「説明しよう」で、1時間の学習内容を基に、説明してまとめる活動が設定されている。また、各章末の「学習を振り返ろう」では、章を通じた学習内容を整理し、意見交換等を通して、自分の考えを深めていく活動が段階的に示されるなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○特設ページ「アクティブ公民」では、本文の学習内容を踏まえて、生徒が社会の課題について考えを深め、意見交換する活動等が設定されている。また、コラム「アクティブ公民」では、社会で議論されている課題の賛否の意見を取り上げ、生徒が議論・選択・判断する活動が提案されるなど、多面的・多角的に考察しながら、言語活動の充実が図れるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「表現」で、見方・考え方を働かせて、学習内容を要約したり説明したりするための活動が設定されている。また、各章末の「章のまとめをしよう」では、新聞記事を基に、自分の考えを深める活動が設定されるなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○随所に設定されている「アクティビティ」では、携帯電話のルールづくりや税の公正さなど、生徒にも議論を深めやすい多様な題材を基にした話し合い活動等が提案されている。また、単元末の「チャレンジ公民」では、豊富な資料を基に、社会に見られる課題について、生徒がグループで議論を行い考察・構想する活動につながるようステップを示して段階的に課題を設定するなど、多面的・多角的に考察しながら、言語活動の充実が図れるようよく工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる学習課題は設定されていないものの、適宜「やってみよう」として、学習課題に関連して考える活動が示されている。また、各章末の「学習のまとめと発展」では、学習した内容を基に、学習を深める問いが用意されるなど、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○適宜設定されている「やってみよう」で、話し合い活動が提案されている箇所が見られる。また、各章で適宜設定されている特設ページ「アクティブに深めよう」では、新聞の読み比べや模擬店の出店など、生徒が話し合い活動や表現活動が展開できるよう工夫されており、多面的・多角的に考察しながら、言語活動の充実が図れるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「探究」で、1時間の学習内容を基に、話し合いや発表、まとめる活動が設定されている。また、単元末の「〇〇のこれから」や「学習のまとめ」では、単元の学習内容を基に、考えを説明したり、話し合ったりする言語活動が設定されており、生徒が身に付けた知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○特設されている「学習を深めよう」では、本文の学習をさらに深めるため、説明や話し合い活動、グループでの作業等の学習課題を「TRY!」や「資料活用」で示し、生徒が学習内容をより深く多面的・多角的に考察するとともに、言語活動の充実が図りやすいよう工夫されている。</p>

【選定の観点2-2】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○全ての単元の「導入の活動」で「探究のステップ」と「探究課題」を示し、生徒が課題解決的な学習を進められるよう工夫され、優れている。単元末では、「探究課題」を基に、これまで思考・判断してきた内容を段階的に整理するページが設けられており、さらに「まとめの活動」では、思考ツールを活用して思考・判断した内容を適切に表現しながら課題解決に取り組むよう提案されるなど、生徒が課題解決的な学習を通して、自ら考え表現する力を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○全ての章で、「学習の見通し」の中で学習課題が示されており、その課題解決に向けたまとめの場面が章末で用意されている。また、各章の最後には、章全体の学習を通して考えてきたことを思考ツールを基に整理して、課題を解決する学習活動が提示されている。また、「次章の学習に向けて」というコーナーが用意されており、これまでの学習が次の章にどのようにつながるかが示されることで、生徒が目的意識と見通しをもって次の課題解決に臨めるよう工夫されている。</p>	<p>○全ての章で、章を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの問いが示されている。それら問いごとに振り返り活動等を設定することで、生徒は章全体の見通しをもちながら、段階的に問いを追究することができるよう工夫されている。また、各章の最後では、節の問いに対して自分の考えをまとめる活動が3段階で用意されており、さらに章の問いに対して意見交換を行ったり、クラゲチャートなどの思考ツールを用いるなどして、生徒が多様な側面から話し合い活動を中心に、考える力を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○全ての単元で、単元の学習課題に取り組む際に働かせたい見方・考え方が示されていることに加え、それに基づいた毎時間の学習課題が設定されている。特に、毎時間の学習課題に重点が置かれており、毎時、見方・考え方を働かせながら、生徒が多様な側面から課題解決的な学習に取り組む、自ら考える力を身に付けられるよう工夫され、優れている。また、章の問いに対して意見交換を行ったり、クラゲチャートなどの思考ツールを用いるなどして、生徒が多様な側面から話し合い活動を中心に、考える力を身に付けられるよう工夫され、優れている。</p>	<p>○全ての章において、知識及び技能の習得に重点が置かれた構成となっているが、生徒が課題を追究したり解決したりする学習の進め方などは、全体を通じて提示されていない。また、各章末の「学習のまとめと発展」では、学習のまとめが設定されているが、生徒にとって、章の始めに紹介されている学習内容との関連性が分かりにくい。また、課題解決的な学習に取り組む手立てとしては弱い。</p>	<p>○全ての章の導入部分に用意されている「○○の入り口」では、章全体の学習内容を捉えられるようになっており、節の課題に基づき、毎時間「課題」が設定されているなど、生徒が目的意識と見通しをもって課題の解決に取り組むことができるよう工夫されている。また、各章末の「○○のこれから」では、章の学習内容と関連した社会の課題が取り上げられており、その解決に向けて考える活動が設定されているなど、生徒が自ら考え表現する力を身に付けられるようよく工夫されている。</p>

【選定の観点3-1】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	<p>○各単元の「導入の活動」で、イラストや資料を基に単元の学習課題を掘むための対話的な学習が設けられている。また、節ごとの問いを「探究のステップ」として、さらに単元を貫く「探究課題」として示すことで、生徒が単元の見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。さらに、単元の導入やまとめ、毎時間ごとなど様々な場面で設けられている「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、話し合い活動等が設定されており、生徒が対話的な学びを展開しやすいよう工夫されている。単元末には、学習した内容を基に、自らがどのように社会や政治、経済に関わるべきかを考える活動が用意されるなど、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元の導入「学習のはじめに」で、漫画やイラストを用いて、生徒が学習の見通しをもって主体的な学習が進められるよう工夫されている。また、単元の導入やまとめ、毎時間の「表現」やコラム「公民の技」で、意見交換や話し合い活動を展開しやすいよう工夫されている。社会の課題を詳しく掘り下げて考える特設ページ「持続可能な社会に向けて」や終章「持続可能な未来の社会へ」では、SDGsの17の目標と意義に加え、持続可能性を妨げる今日的な課題が例示されており、生徒がその解決に向けて探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元の「学習の前に」では、大きなイラストを用いて、身近な事例から学習内容を読み解く活動が用意され、生徒にとって、単元の学習への見通しを立てやすく、学習の動機付けにもつながる手立てとなっており、生徒が主体的に学習が進めやすいよう構成されているとともに、単元のまとめや「アクティブ公民」等の特設ページでは、生徒が対話的な学びを展開しやすいよう学習課題がよく工夫されている。社会の課題を取り上げるコラムと特設ページの「未来に向けて」で、本文と関連させたSDGsや地方公共団体の取組が紹介されていることや、特設ページ「章の学習を振り返ろう」「アクティブ公民」で、社会に見られる課題の解決に向けて、生徒自身が、構想・選択・判断する学習が提案されているなど、生徒の探究意欲を高められるよう工夫され、優れている。</p>	<p>○単元の冒頭でイラストを基に身近な出来事を取り上げて、単元の学習内容を見通す場面を設定するなど、生徒の学習の動機づけにもつながる手立てが工夫されている。また、章と節の学習課題を問いで示すことで、生徒が単元のまとめに対して見通しをもって主体的に学習を進められるようよく工夫されている。単元の導入やまとめ、「アクティビティ」では、意見交換したり、話し合ったりする活動が設定され、生徒が対話的な学びを展開しやすい。毎時間の学習課題の解決につながる具体的な問いや活動を「アクティビティ」として示すことや、編末の「チャレンジ公民」を通じて、見方・考え方を働かせながら、社会の課題に対する考察、選択・判断、解決に向けた構想を引き出し、生徒が課題を追究しながら、探究意欲を高められる工夫に優れている。</p>	<p>○各単元で適宜設定される「もっと知りたい」や各章末の「学習のまとめと発展」等で、生徒の探究的な学びを促す問いが設けられている。また、終章の「課題の探求」(※探究でなく探求と表記)では、ディベートや卒業論文の作成が課題として用意されるなど、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。一方で、各単元の学習を見通すための場面等が設定されておらず、生徒が見通しをもって主体的に学習に向かう活動にはつながりにくい。また、毎時間の「やってみよう」で話し合い活動が設定されていたり、「アクティブに深めよう」では、対話的な学びを促す学習活動が取り入れられていたりするが、他社に比べるとその場面は少ない。</p>	<p>○各単元の導入の「○○の入り口」で、学習内容に関わる具体的な課題が示されるとともに、資料の分析や調べ学習など、生徒が自分で考える場面が設定されている。また、各単元の学習の目的、視点、手順も示されており、生徒が見通しをもって主体的に学習が進めやすい。随所に設定された「見方・考え方」のコーナーや毎時間のまとめとなる「探究」等では、話し合い活動を意識した課題が提案されるなど、対話的な学びが展開しやすいよう工夫されている。各章末に、その章で学習した内容を踏まえ、社会の未来の姿をさらに深く構想する「○○のこれから」が設定されており、生徒の探究的な学びが促されるよう工夫されている。</p>

【選定の観点3-2】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○適宜設定される特設ページ「もっと知りたい」では、学習内容をさらに深めたり、広げたり、異なる視点で捉えたりするコラムが用意されている。また、「みんなでチャレンジ」等では、対話の場面や様々な思考ツールを用いて思考を整理する活動が意図的に設定されるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○単元全体の「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間の「学習課題」の3段階に設定された課題によって生徒に学習活動の見通しをもたせるとともに、学習内容ごとに「チェック」「トライ」で、自らの学習状況を確認できるよう工夫されている。「まとめの学習」において、「確かめよう」の項目で習得した知識を確認できるようにするとともに、「みんなでチャレンジ」の学習課題で、協働的に学びを深めることができるよう工夫されている。</p>	<p>○各所に、ディベート、思考ツールの活用等考えや意見を整理するための技法が紹介されている。また、随所に設けられているコラム「公民の窓」「クリップ」では、本文の学習内容をさらに掘り下げ、視野を広げる内容を紹介することで、生徒の関心を高めながら、発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○章のテーマとしての「問い」、「節の問い」、毎時間の「学習課題」の3段階で課題を示すとともに、学習課題に対する学びを振り返るための「確認」「表現」のコーナーを設定し、生徒が個別に学びを深める手立てが工夫されている。また、章末の「学習のまとめと表現」の課題などを通じて、生徒の学び合いの場面を設定するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開できるように工夫されている。</p>	<p>○適宜設定されている「技能をみがく」コーナーで、カードを活用した情報分析方法や、ディスカッションの方法など、考えや意見を整理するための技法が紹介されている。また、社会の課題解決に向けて、多様な立場から考える活動を設けた特設ページ「アクティブ公民」やコラム「未来に向けて」「公民プラス」では、学習内容に関する実社会の動きを豊富に取り上げることで、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○「章の問い」、「節の問い」、毎時間の「学習課題」の3段階で課題を示すとともに、学習課題に対する学びを振り返るための「確認しよう」「説明しよう」のコーナーを設定し、生徒が個別に学びを深める手立てが工夫されている。また、随所に設けられた「アクティブ公民」の課題などを通じて、生徒の学び合いの場面を設定するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開できるように工夫されている。</p>	<p>○各章末に、ウェビングなど課題について考える際の手助けとなる思考ツールを使った活動が紹介されている。また、学習内容をさらに掘り下げ、深い学びにつなげるためのコラム「公民+α」や、身近な地域活動の例から私たちにできる社会参画を考える「明日に向かって」など、日々の暮らしに見られる社会の課題に着目させ、生徒の関心を高めながら、発展的な学習に取り組みやすいように工夫され、優れている。</p> <p>○見開きの2ページを単位として、節の問い、学習課題、見方・考え方を示すとともに、学習課題に対する学びを振り返るための「確認」「表現」のコーナーを設定し、生徒が個別に学びを深める手立てが工夫されている。また、随所に設けられた「アクティビティ」の課題などを通じて、生徒の学び合いの場面を設定するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開できるように工夫されている。</p>	<p>○各所に設けられる特設ページ「ミニ知識」「もっと知りたい」で、日本人の精神文化、宗教、年金など、歴史的背景や社会の仕組みを発展的に学ぶ学習内容が紹介されている。また、章のまとめの「学習のまとめと発展」では、より難しい学習課題が用意されるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○各時間の学習課題を示すとともに、章末には、ワークシート形式でまとめの学習課題を提示し、生徒が自ら学習を進められるようにしたり、話し合いや発表の場面を設定するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開できるよう工夫されている。</p>	<p>○個人やグループ学習を提案する「やってみよう」のコーナーでは、グラフを活用した学び方などが提案されている。また、学習内容を詳しく説明する「学習を深めよう」や、単元末の「〇〇のこれから」などで、社会の課題解決に向けて構想する活動が設定されており、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○章や節といった単元のまとめで設定した問いや課題と各時間の「課題」を関連付けて、生徒に学習の見通しをもたせるとともに、学習ごとに「確認」「探究」を通じて、自らの学習状況を確認できるよう工夫されている。章末の「〇〇のこれから」では、資料を活用しながら、協働的に学びを深めることができるよう学習課題が工夫されている。</p>

【選定の観点4-1】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、現代社会の見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○各章や各単元で、適宜「見方・考え方」マークが付されているとともに、見方・考え方を働かせながら考察を深める「活動コーナー」が随所に設定されている。また、「導入の活動」「まとめの活動」では、Yチャート、ダイヤモンドランキング、マトリックス等の思考ツールの活用が提案されているなど、生徒が見方・考え方を働かせながら探究課題の解決を図る活動が設定されるなど、工夫されている。</p> <p>○各単元の導入で、解決すべき課題を把握するための視点を、生徒が自ら見付け出すことで、課題を追究し解決する活動へつながるよう工夫されている。また、各単元の「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動を通して、考察を深め、価値判断や意思決定する場面が設定されており、単元末のまとめでは、節ごとの探究の問いに対して、考察してきたことを思考ツールを活用して整理する活動が提案されている。さらに、「まとめの活動」では、社会の課題解決に向けて、生徒が考察、構想する場面が設けられているなど、全ての単元で課題解決に向けた学習の充実が図られており、優れている。</p>	<p>○各章の導入で、学習を進めていく視点が「見方・考え方」として示されるとともに、適宜「見方×考え方」マークで見方・考え方を働かせて現代社会の考察を深める問いが設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、章全体のテーマについて、具体的に示された見方・考え方を働かせながら、生徒が自分の考えをまとめ、解決を図る活動が設定されているなど、工夫されている。</p> <p>○各単元の導入で、単元を貫く学習課題の視点が示されており、生徒が単元全体の見通しをもって、学習に取り組むやすい。また、各単元の「公民の技」「TRY!」では、社会の課題解決に向けて考察、構想する活動が設定されており、各単元末の「学習のまとめと表現」には、これまでの学習内容を活用して、さらに考察・構想し、次の単元の学習につなげる構成となっているなど、生徒がより深く課題を追究できるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元末の「アクティブ公民」では、見方・考え方を働かせながら、生徒が様々な図表や資料から正確に情報を読み取り、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する活動が設定されている。また、各章末の「章の学習を振り返る」では、章を貫く問いについて、具体的に示された見方・考え方及び習得した技能を生かしながら、生徒が章の問いを解決できるよう段階的な活動が設定されているなど、工夫されている。</p> <p>○各単元の導入「学習の前に」では、大きなイラストを読み解く活動が取り入れられ、生徒が社会の課題や特色と関連させながら、課題把握・課題追究できるよう工夫されている。また、各単元の「公民プラス」、「未来に向けて」等では、社会の課題を考察する場面が設けられており、各単元末の「アクティブ公民」では、社会の課題解決に向けて、生徒が選択・判断する活動が設定されている。さらに、各単元のまとめでは、他者の意見を基に自分の考えを深めながら課題を解決する活動が設定されるなど、単元を通して考察・構想する学習活動が充実しており、優れている。</p>	<p>○各編の導入で、身近な場面から課題を捉えた漫画を用いて、生徒に分かりやすく見方・考え方が解説されている。また、毎時間の学習では、毎時間の学習課題に応じた「見方・考え方」を着目する視点として具体的に示すなど、生徒が学習の見通しをもちながら、課題追究を行いやすい。さらに、「アクティビティ」や特設ページ「明日に向かって」、章末の「まとめと振り返り」など、見方・考え方を働かせる問いが各所に設定されており、優れている。</p> <p>○各単元の導入で、イラストマンガを基に生徒に学習の視点が具体的に伝わるよう工夫され、生徒にとって、単元の学習課題と共に単元の学習で働かせる見方・考え方が捉えやすい。各単元の「アクティビティ」で、考察を深める活動や、「明日に向かって」「チャレンジ公民」で、話し合い等、生徒が多面的・多角的に考察する活動を展開できるよう工夫されている。単元末のまとめで、社会的現象について生徒が自らの意見や考えを表現する場面が設定されているなど、社会の課題を自分ごととして考察、構想できるよう学習活動が充実しており、優れている。</p>	<p>○「ここがポイント」など、現代社会の特色を捉える上でキーワードとなる言葉や視点を補足しているが、毎時間の学習課題と関連付けて、現代社会の見方・考え方を働かせ考察を深めるための視点や手立てとしては、工夫がやや弱い。</p> <p>○各章の最初の単元に、単元を通して考えたい学習課題が示されているが、各単元の学習を見通すための場面等は設定されておらず、生徒は見通しをもちにくい。また、各単元の学習課題は、本文の記述を基に、これまでの歴史的な背景から日本の現状を知ること重点が置かれているため、多様な視点を基に、生徒自らが現代社会の特色を捉え、解決すべき課題を把握し、その解決に向けて考察、構想する場面の設定が少なく、工夫が弱い。</p>	<p>○全体を通して、現代社会の仕組みをより深く理解することに重点が置かれ、「○○のこれから」では現代社会に見られる課題の論点を示し、生徒が見方や考え方を働かせる学習活動に取り組めるよう工夫されている。また、随所に資料などを基に「見方・考え方」のマークを付した課題が設定され、生徒が現代社会の見方・考え方を働かせた学習が展開できるよう工夫されている。</p> <p>○各単元の導入で、なぜこのテーマを学ぶのかを解説し、生徒が見通しをもって学習課題の解決に向けて取り組めるよう工夫されている。また、特設ページの「やってみよう」「学習を深めよう」では、学習課題についてより詳しく説明する活動やグループ活動など、考察を深められる活動が設定されている。さらに、各単元末の章末の「○○のこれから」では、「スキルアップ」として、KJ法やディベートなど公民学習の基礎的スキルを活用しながら、社会の課題に対して、考察、構想する場面が設けられているなど、生徒がより深く課題を追究する学習活動に取り組めるよう工夫されている。</p>

【選定の観点4-2】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、現代社会の見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
○巻頭で、「持続可能な社会の実現」の視点から現代社会の課題を探り、課題解決に向けて「今の自分にできることは何か」を探ることを学びの方向性として示されている。また、単元構成や学習課題において、生徒が現代社会の課題を見だし、主体的に解決しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。	○巻頭でSDGsに基づいた社会の姿を考えていくことが公民的分野の学習全体を貫く課題として示されており、生徒が目指すべき社会の姿や現代社会の課題解決の方向性を意識することができるように単元構成や学習課題が工夫されている。	○巻頭の「よりよい社会を目指して」で、SDGsの具体的な資料を示しながら、それらの達成に向けた取組の例がコラム「未来に向けて」で豊富に紹介され、関連ページでは持続可能な社会のための支援策を考える活動が設定されるなどがどのように関わっていくべきかを探ることが学びの方向性として明確に示されている。また、現代社会の課題追究及び課題解決に向けて、生徒が主体的に取り組む態度を身に付けることができるよう単元構成や学習課題が工夫され、優れている。	○巻頭でSDGsの具体的な資料を示しながら、今後、目指すべき日本社会の姿を捉えることが学習活動の軸として示されている。また、生徒が多面的・多角的に社会的事象や現代社会の課題を捉える力を身に付けることができるよう単元構成や学習課題が工夫されている。	○巻頭及び巻末に、日本の伝統文化や先端技術等が示されており、生徒がこれまでの歴史の歩みを基に築かれた現代の日本社会の特色を捉えた上で、日本を支える公民の姿や、国際社会において目指すべき日本の姿を探る学習活動が展開できるように学習課題が工夫されている。	○巻頭で、グローバル化の時代に必要な公民としての資質など、考えるべき視点に対する一定の見解を示し、生徒が現代社会に対する見方や考え方を意識することができるよう工夫されている。また、生徒自身が公民としてのあるべき姿や資質を考えることができるよう単元構成や学習課題が工夫されている。

【選定の観点5-1】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に現代社会に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、国民主権を担う公民として、我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重し、その平和と繁栄を図ることや、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重すること、また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○巻頭や第1章の始めに、持続可能な社会の実現に向けて、環境・エネルギーや防災・安全などの5つのテーマに分けて解決すべき課題が取り上げられている。また、終章では、生徒が持続可能な社会の実現のためにできることは何かを考える活動が設定されているなど、持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○経済的分野では、コンビニエンスストアの立地を考えるなど、地域の経済に着目した学習課題が設定され、身近な社会の姿から自分たちの生活を問直すことで、持続可能な社会の実現に向けて、基礎となる見方・考え方を身に付けられるよう工夫されている。また、政治的分野のまとめとなる「地方自治」の学習では、地域の課題を明らかにして、地方財政の仕組みを踏まえながら、生徒自らが地域社会に対してできることを考える学習が用意されているとともに、特設ページ「18歳へのステップ」で政治や契約に関する教材が取り上げられるなど、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○持続可能な社会を創造する市民の育成が編集の柱とされている。巻頭では、SDGsの17の目標と持続可能な未来予想図が紹介され、本文の各所でも学習内容と関連するSDGsの項目が示されている。また、終章でも「私の提案 自分を変える、社会を変える」が探究課題として用意されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○経済的分野の学習では、契約を題材に売り手と買い手の権利と責任を考えたり、財政や社会保障の役割を基に制度のあり方を考えたりするなど、様々な経済的な仕組みなどに対し、個人が果たす役割を捉えることに重点が置かれている。また、政治的分野では、特設ページで「なぜ、子どもたちを大事にするまちづくりが必要なのだろう」をテーマに身近な地域のあり方を考える活動を取り入れるなど、多面的・多角的な視点から、これまでの学習とのつながりや連続性を踏まえ、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○持続可能な開発目標の意義の理解を涵養するため、各省の振り返りの「探究学習への準備」で必ずSDGsの目標の視点から振り返っている。特設ページ「よりよい社会を目指して」「未来に向けて」「アクティブ公民」では、社会が直面する課題が取り上げられている。また、各所にSDGsとの関連を示すマークが付されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられる工夫に優れている。</p> <p>○経済的分野の学習では、契約・消費者問題の項目で、個人の責任について考察する学習活動が取り入れられるなど、経済活動の主体となる家計・企業・政府の役割と責任を捉えることに重点が置かれている。また、政治的分野のまとめとなる「地方自治」では、地方財政の予算案を考える学習課題が用意されており、公正と効率の考え方を基に、地域社会の望ましい姿を考えたり、様々な企業活動と現代社会の課題との関係性と捉えたりしながら、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるように工夫されている。</p>	<p>○巻頭の見開きで、国際社会共通の目標として、SDGsの17の目標が分かりやすく紹介されており、持続可能な社会を実現するために私たちがどのような視点をもつことが大切かを考えることから公民学習がスタートしている。また、各単元でも、特設ページ「明日に向かって」で持続可能な社会について触れることや、資料からSDGsの視点を確認するなど、全体を通して、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられる工夫に優れている。</p> <p>○経済的分野の学習において、少子高齢社会における社会保障と財源の課題など、持続可能な社会の実現を視野にして、生徒が現代社会の課題を捉える学習課題が取り上げられている。また、政治的分野の学習のまとめとなる「地方自治」では、地方財政の課題について考察したり、模擬選挙を題材に政策を検討する学習活動を提案するなど、見方・考え方を働かせながら、経済と政治の学習を結び付けて考えることを通して、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○特設ページ等は設定されていないものの、国際社会の単元で、SDGsの理念が紹介されている。また、終章では、「持続可能な社会を目指して」がテーマとされ、日本型ODA等や軍事、環境等の視点から見た日本と世界の姿が掲載されるとともに、卒業論文やディベートが「課題の探求」として設定されるなど、生徒の持続可能な社会の形成に参画する態度の涵養につながるよう工夫されている。</p> <p>○経済的分野の学習では、豊かさを生む経済の仕組みや政府の経済活動等について学び、あるべき経済活動とはどのようなものか、生徒が考え、理解する活動に重点が置かれている。また、政治分野の第1章「個人と社会生活」の中で、特設ページ「魅力あるまちづくりを考えよう」が設けられているなど、日本で暮らす私たちが地域社会や国際社会で果たすべき責任を考えることを通して、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭の見開きで、SDGsの17の目標が写真を用いて具体的に示されており、生徒にとって分かりやすい。第5章では、SDGsに関する教材等が紹介されている。取り上げられた教材と巻頭の17ゴールの関連付けが示されていない面は見られるが、生徒が教材を基に持続可能な社会の形成に参画する態度の涵養につながるよう学習課題が工夫されている。</p> <p>○経済的分野の学習では、「人生をデザインしよう」など、将来の生活の姿を意識し、現代社会において自らがどのように行動していくかを考える活動が設定されている。また、政治的分野の政治参加・地方自治の単元では、「学習を深めよう」のコーナーを通じて、様々な対立を調整しつつ、重視する価値の選択や判断を行う学習活動を設定するなど、生徒が主権者としての資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5-2】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に現代社会に見られる課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、国民主権を担う公民として、我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重し、その平和と繁栄を図ることや、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重すること、また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○国際社会の単元を「地球社会」と位置付け、グローバル化する社会の中で、持続可能な社会の実現に向け、「人間の安全保障」の視点を幅広く捉えながら、国家の枠組みを超えて解決すべき課題を見出すことに重点が置かれている。また、文化や宗教の果たす役割やその変化に触れながら、文化的・宗教的な立場の違いに対する理解を深められるよう、自らの生活に根づく文化や宗教に注目する教材が用意されている。さらに、日本の伝統と文化が私たちの生活にどのような影響を与えているのかを考察できる教材等が用意されるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるよう工夫されている。</p>	<p>○国際社会における解決すべき課題を民族や宗教、人権、経済活動など、これまでの学習を通して身に付けた多様な視点から捉えることに重点が置かれ人権課題や多文化共生に着目した写真や資料が多く掲載されている。地域に根づく文化のあるべき姿を考える学習など、グローバル化する社会において、文化が果たす役割を捉えながら、自らの地域の文化に注目し、地域社会から日本、国際社会へと多様性を尊重する態度を養うことができるよう工夫されている。また、地域の教訓を語り継ぐ奇跡の集落、日本の美徳、現代建築に生きる五重塔の技と知恵などが紹介されるなど、郷土の伝統と文化だけでなく、過去から受け継がれてきたものを未来の世代へと受け継いでいく意味について考えるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるような工夫に優れている。</p>	<p>○「SDGs」・「人間の安全保障」の考え方に基づき、国際社会が目指す姿を捉えることで、国際社会における文化的・宗教的な課題の解決に向けて、今後の国際社会における秩序や方向性、価値観について考える力を養うことができるように工夫されている。また、狂言師・野村萬斎氏のインタビューから、伝統と文化の継承や創造していくことの意義について考えていく教材や、グローバル化する社会において、文化や宗教が果たす役割を見つめ直しながら、自らの生活に根づく伝統と文化に注目する教材が用意されるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるよう工夫されている。</p>	<p>○国際社会の単元の中で、グローバル化する社会において、「地球市民」としての立場から現代の社会の課題を捉え、文化や宗教が果たしてきた役割や文化を形作る背景を多面的・多角的に考察するための豊富な資料等が用意され、それを活用しながら考察できるよう工夫されている。例えば、日本の領土問題に加え、パレスチナ問題やロシアのウクライナ侵攻など世界の領土問題を掲載するなど、日本に限らず様々な国の立場から多面的・多角的に考察することが促されている。また、現代社会における文化として、日本の各地域に受け継がれてきた様々な伝統と文化の多様性を取り上げ、グローバル化が進む中で、国際的な視点から我が国の伝統と文化を考察する教材が用意されるなど、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重するとともに、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度を身に付けることができるような工夫に優れている。</p>	<p>○「日本の自画像」として、本文やコラム等で文化、科学、芸術、宗教が取り上げられており、歴史的背景等を基にしなが、グローバル化する社会の中で日本の姿を捉え、日本の文化、科学、芸術、宗教の特色を深く考えられるよう工夫されている。特に、特設ページ「グローバル化によって私たちの生活はどう変わったのか、考えてみよう」では、グループワークに取り組んだ後、コラム「日本人の精神」「科学(芸術、宗教)とは何だろう」で、日本人の自画像、文化の継承と発展について考えを深められるよう構成されており、生徒が我が国と郷土を愛し、伝統と文化を尊重する態度や社会参画への意識を身に付けることができるよう工夫されている。</p>	<p>○国際社会の単元では、「文化と宗教の多様性」を題材に世界遺産や世界の主な宗教の分布図等が示されている。また、「国旗・国歌」の題材を設けて、日本の歴史や伝統・文化を意識することについても取り上げている。生徒が我が国と郷土を愛し、他国の多様な文化や価値観を互いに尊重する態度や、「SDGs」の理念に基づき、国際社会が目指す姿を実現するため、日本が果たすべき役割を考え、社会参画への意識を身に付けることができるよう工夫されている。</p>



【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○世界の貧困や宗教による食の違いなどの9の事例で「ちがいを」を考える導入教材「ちがいのちがいで」や、ハンセン病と人権、アイヌ文化、尊厳死、オーストラリアの先住民の権利保障などがコラムで取り上げられている。また、「みんなでチャレンジ」では、バリアフリーの取組を基に、意見を出し合いながら、違いを認め全ての人が支え合うインクルージョンについて考える活動が設定されており、生徒が人権に対する理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○単元の学習内容に沿って、職業の様子ややりがいなどを語るインタビューコラムが充実しており、具体的な職業を身近なものとして感じることで、生徒が勤労の精神や社会参画等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○人権課題に着目した写真や資料が多く掲載され、ハンセン病、ヘイトスピーチ、捜査技術の進歩と人権、子ども食堂、識字学級、LGBT等の豊富な題材がコラムや特設ページで取り上げられている。また、社会保障の単元のコラム「公民の窓」では、「平等であること、公正であること」として、単なる平等ではなく、公正の観点からそれぞれの人の違いに応じた配慮のあり方を考える題材、また、国際社会の単元では、子どもと女性の問題に関する題材が数多く取り上げられるなど、生徒が人権に対する理解を深められるようよく工夫されている。</p> <p>○「国際社会に生きる私たち」の章で、国際社会における宗教のもつ意味や、文化や宗教の違いを巡る問題が取り上げられており、生徒が国際理解や寛容な態度等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○コラム「未来に向けて」では、人権をテーマに、「アイヌ語への思い」「障がいがあっても働ける場を」といった題材が取り上げられ、特設ページ「偏見や差別をなくすために」では、中学生の人権作文やハンセン病療養所の保育園等の資料から、偏見や差別をなくすための具体的な取組を考える活動が用意されており、生徒が人権に対する理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>○適宜設定される教材「公民プラス+」で、人権に係る議論や国際紛争、様々な業種で活躍する人々の生の声を取り上げるなど、生徒が公正・公平、社会正義、想いや葛藤、自己実現等を通じて、生徒が他者との関わり、自分の将来やよりよく生きる喜び等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○ハンセン病や遺伝子情報と人権等の題材がコラムで取り上げられているとともに、特設ページ等において、身近な生活の中から人権について考える場が設定されている。また、教材「まちのバリアフリーを探そう」では、大阪府堺市を例に障害のある人への配慮の例が豊富に紹介されるとともに、点字が体験できる資料が添付されているなど、生徒が人権に対する理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>○コラム「公民+α」でハンセン病や働く人へのインタビューが取り上げられたり、「明日に向かって」でプラスチックの海洋汚染が取り上げられるなど、生徒が公正・公平、社会正義、自然愛護、よりよく生きる喜び等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○アパルトヘイトや少数民族への弾圧、難民問題等の人権問題が取り上げられている教材「国際社会における人権」で、世界の人権問題について取り上げられている。また、特設ページ「もっと知りたい」では、近隣諸国の人権問題や日本人拉致問題が取り上げられているなど、生徒が人権に対する理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>○特設ページ「もっと知りたい」では、日本の芸術文化、新しい権利、拉致問題等が取り上げられており、生徒が公正・公平、よりよく生きる喜び等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○特設コーナー「学習を深めよう」で、在日外国人や部落差別、アイヌ文化、ハンセン病等の題材が取り上げられている。また、コラムや特設ページ等において、拉致問題、アパルトヘイト、チベット問題、ウイグル問題、アフリカ諸国の内戦等、日本を含む、世界の人権問題が取り上げられているなど、生徒が人権に対する理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>○コラム「学習を深めよう」で、自然災害伝承碑や子どもの貧困問題等が取り上げられており、生徒が生命の大切さや公正・公平等の道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点7-1】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○単元を貫く「探究課題」、その解決につながる各節の「探究のステップ」、毎時間の「学習課題」の3段階の問いに対応した振り返り活動が系統的に設定され、生徒が課題に沿って学習を深めることができるよう工夫されている。特に、各章末「まとめの活動」では、思考ツール等の活用を含め、示された課題に順次取り組むことで、章の「探究課題」に対して自らの考えを構築できるように学習活動が系統立てられており、よく工夫されている。</p> <p>○地理・歴史分野、他教科との関連が一目で分かるようマークが示されており、生徒が関連を想起しやすい。また、「もっと知りたい！」として、環境・エネルギー、伝統文化、防災・安全等、現代的な諸課題に関わる課題が取り上げられるなど、工夫されている。</p>	<p>○章を貫く問い、節ごとの問い、1時間ごとの学習課題の3段階の問いと、章末と毎時間設定されているまとめ活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。また、各章末の「次章の学習へ」では、学習してきた章のポイントと次章の学習の方向性が具体的に示されていることで、新たな章の学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭に、公民で学ぶ主要内容と地理・歴史分野とのつながりや、学習の見通しが示されている。また、見開きの左下には、他分野だけでなく他教科のどの単元や項目と関連するかが示されており、生徒が教科を越えたつながりを意識しやすい。また、適宜「関連するSDGs」が脚注に示されるなど現代的な諸課題との関連も明示されるなど工夫されている。</p>	<p>○単元を貫く問い、節ごとの問い、1時間ごとの問いとそれぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるように工夫されている。特に、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、章の学習内容を深める場が段階を踏んで設定されているため、繰り返し継続的に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○巻頭に他分野・他校種とのつながりを含め、公民的分野の学習の全体像が説明されている。また、見開きの左下には、地理や歴史の他分野との関連が明示され、生徒がどの単元のどの項目を振り返るとよいか分かりやすい。他教科や現代的な諸課題は、特設ページ「公民プラス」等で関連する題材が取り上げられているなど工夫されている。</p>	<p>○各章の導入で、これから学習する「章の問い」、「節の問い」が示され、章や節の問いに関連付けられた毎時間の学習課題に取り組む中で、生徒が自らの意見や考えを構築することを目指し、系統的に学習が進められるよう工夫されている。毎時間の学習課題に取り組む際に、働かせたい見方・考え方を示すことや、章末の「チャレンジ公民」で、学習してきたことを整理し、社会に見られる課題の解決に向けた学習つながるよう学習活動が系統立てられていることなど、よく工夫されている。</p> <p>○巻頭に地理・歴史分野とのつながりが説明されており、本文の脚注にも、地理・歴史分野のどの単元と関連しているかが具体的に示されており、生徒にとって使いやすい。巻末には、他教科とのつながりが説明されている。また、「アクティビティ」などのコーナーに、他分野、他教科との関連を意識した内容が取り上げられていることやSDGsに関連する内容が随所に示されるなど、現代的な諸課題と結び付けて学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の導入で示した学習課題に沿って、毎時間の学習課題を設定していることや、章末で「学習のまとめと発展」として、重要語句を確認するなどのまとめ活動を設定していることなど、生徒が系統的に学習を進められるように構成されているが、各章の導入は問いを文章表記するに留まり、どのように学習を進めるかといった点や、章の学習課題と毎時間の学習課題の関連が示されていないなど、手立てとしてはやや弱い。</p> <p>○歴史的分野で学習した人物に着目して、公民的分野の学習との関連を取り上げる場数が数多く示されていることや、「ミニ知識」のコーナーなどで、他分野や他教科に関連する内容が紹介されているなど工夫も見られるが、他分野、他教科ともに関連性を示すマークなどが明示されていないため、学習活動の中で生徒が他分野や他教科の学習内容を想起できるようにするための手立てとしてはやや弱い。</p>	<p>○各章冒頭の「○○の入り口」で学習する章全体の概要を捉えた上で、1時間ごとの学習課題を解決する学習をした後、章末の「学習のまとめ」に取り組む構成となっている。各章末の「○○のこれから」では、章の学習内容を活用して、社会に見られる課題の解決に向けて考えを深める活動が設定されており、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭に地理・歴史分野とのつながりが図示され、なぜ公民を学ぶのかを説明することで、生徒が公民的分野の学習に対する見通しをもつことができるよう工夫されている。また、各見開きには、地理や歴史の学習内容との関連が示されている。特設ページ「学習を深めよう」などで、他教科との関連を意識した内容が取り上げられている。</p>

【選定の観点7-2】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○章初めに、小学校での学習内容を用語や写真資料で振り返るページが掲載されているとともに、小学校教科書と同じ資料には、小学校マークを付けて関連を示すなど、生徒が小学校の学習内容を意識して学習に取り組みやすい。また、巻末で、高等学校「公共」の学習へつなげるなど、小中高の接続が図られている。</p> <p>○これからの家族のあり方や地域社会全体で支える仕組みづくりの重要性を考える教材「多様化する家族の形」が用意されている。また、地方自治の学習の中で、身近な地域の課題や住民によるまちづくりなどについて考える活動が設定されており、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○見開きの左下に小学校マークを付けて、どの単元と関連しているかが示されており、生徒が小学校の学習内容を意識して学習に取り組みやすい。また、中学校社会科のまとめである終章「私たちが未来の社会を築く」では、高等学校「公共」の学習へつなぐ準備と位置付けられるなど、接続が図られている。</p> <p>○家族や家庭のあり方を考えるとともに地域社会でのつながりの大切さに気付くことができる教材「世代を超えてともに生きる」が用意されている。また、地域のルールを考えたり、まちづくりのアイデアを提言したりする活動が設定されるなど、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の導入ページに、小学校との関連が掲載されているとともに、見開きの左下にも小学校のどの単元と関連しているかが示されているなど、生徒が小学校の学習内容を意識して学習に取り組みやすい。また、「アクティブ公民」のページでは、社会に見られる課題の解決に向けて構想する場面が重視されており、高等学校「公共」との接続が図られている。</p> <p>○教材「子どもと高齢者が共に過ごす」では、子どもと高齢者が共に過ごす兵庫県例を通して、核家族が多い現代において、家族を含めて、社会全体の支え合いの必要性を考える活動が設定されるなど、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○小学校で学習した知識を生かすことができるよう、章の冒頭にある「学習のはじめに」のページで小学校の学習内容との関連が示されている。また、巻末に高等学校「公共」における見方・考え方との関連などがわかりやすく説明されており、中学校の学習をどのように生かしていくか生徒が理解しやすいように工夫されている。</p> <p>○家族は最小の社会集団であり、個人と社会を結び付ける重要な役割を果たすことを取り上げる教材「家族と社会」が用意されている。また、「明日に向かって」「チャレンジ公民」では、地域の課題やよりよいまちづくりについて考える題材が取り上げられるなど、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○小学校との関連を示すマークや特設ページ等の工夫は、ほぼ見られず、全体を通じて生徒が学習中に小学校の学習内容を振り返って想起する場面を引き出す手立てとしてはやや弱い。</p> <p>○1つの節として、「家族の中で育つ私たち」が取り上げられているなど、家族に関する記述が充実しており、生徒が家庭内での男女平等や家庭生活の変化を捉え、家族や家庭のあり方について考えられるよう工夫されている。また、教材「私たちと地域社会」では、地域社会との関わりを考え、特設ページ「魅力あるまちづくりを考えよう」では、これからの地域のあり方について考える活動が設定されるなど、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の導入で、小学校で学習した内容が紹介されており、生徒は小学校の学習を振り返りながら、章の学習に入っていくことができるよう工夫されている。</p> <p>○1時間の学習内容として「家族の一員としての私たち」が取り上げられるなど、家族に関する記述が充実しており、家族の役割や形態の変化から、生徒が家族の大切さと家族を基礎に地域社会を守り育てていくことの大切さについて考えることができるよう工夫されている。また、1時間の学習内容として「郷土の一員としての私たち」が取り上げられるなど、地域社会の変化や様々な課題から、公共の精神や郷土への関わりを考えることを通して、生徒が家庭や地域のあり方について考えを深められるよう工夫されている。</p>

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名					
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
<p>○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、本文と資料の背景色を変えることで、より本文の文字が読みやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが採用されており、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用するなど、見やすさを追求したユニバーサルデザインへの配慮がされている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙と環境に配慮した植物油インキが使用されている。</p>	<p>○重要語句は太文字のゴシック体で表記されており、グラフなどの色使いを統一させるなど、見やすくするよう工夫されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。また、見開き右下の色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせ提示するなど、より分かりやすくするよう工夫されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。また、グラフなどは、線種を変えたりするなど色以外の情報からも読み取れるよう配慮されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙やライスインキが使用されている。</p>	<p>○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、統計やグラフの出典年まで示されるなど、工夫されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに配慮されている。また、ページ番号に色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>	<p>○重要語句が太字のゴシック体で表記されており、他社に比べて写真や図表が厳選され、余白を設けることで見やすくなるよう工夫されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等に配慮されているか明記されていない。また、ルビの振られた漢字が少なく、全ての生徒の使いやすさへの配慮としての手立てとしては弱い。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○用紙やインク的环境面への配慮は明記されていない。</p>	<p>○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせ提示するなど、生徒により分かりやすくするよう工夫されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントの使用と併せて、図版は色覚特性を踏まえて判別しやすい色を使用するなど、ユニバーサルデザインへの配慮がされている。</p> <p>○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙や植物油インキが使用されている。</p>